

平成29年度(2017年度)

管理事業名	休日急病診療所事業				総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第6節 健康な暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 13 休日急病診療所費
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域医療推進室休日急病診療所			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
<p>事業の目的と概要</p> <p>【休日急病診療所事務事業】 吹田市立休日急病診療所は、日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始において、吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会の協力を得て、昼間の急病患者に対して、応急的な医療を市民の皆様へ提供しています。 診療科目は内科、小児科、外科、歯科の4診療科です。</p> <p>【休日急病診療所移転整備事業】 吹田市立休日急病診療所は、平成27年2月以降、総合福祉会館4階で暫定的に運営を行っていますが、その恒久的な移転先として、「おおさか・すいたハウス(青山台4丁目)」の建物に移転し、平成31年度(2019年度)末の開設を予定しています。</p>						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
受診者数	人	4,320	4,842	5,345	休日急病診療所を利用された患者数
成果の説明	吹田市立休日急病診療所は、開業医が休診の日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日・年末年始の昼間における応急的な医療を市民に提供することで、平成29年度は年間延べ5,345人の救急患者に対する診療業務を行い、休日等の初期救急医療の確保に努めました。 患者数につきましては、平成27年度は平成27年2月22日に休日急病診療所が千里保健医療会館から現在の総合福祉会館4階へ移転したことにより患者数が減少しましたが、平成28年度には現在の診療場所が周知されてきたことやインフルエンザによる患者数が増加したことにより増加し、平成29年度はインフルエンザの大流行により更に患者数が増加しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	37,357	41,738	48,392	6,653
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	56	286	66	△220
経常収入 小計(a)	37,413	42,024	48,458	6,434
給与関係費	62,835	67,241	75,993	8,752
物件費	7,442	7,150	11,093	3,943
維持補修費	67	108	70	△38
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	104	104	122	18
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	3,864	1,879	3,647	1,768
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	608	1,236	1,880	644
退職手当引当金繰入額	△9,264	8,145	8,388	243
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	0	0
経常費用 小計(b)	65,655	85,864	101,194	15,330
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△28,242	△43,839	△52,736	△8,896
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	47,069	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	47,069	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△47,069	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△75,312	△43,839	△52,736	△8,896
一般財源充当額	35,204	34,741	199,066	164,326
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△40,107	△9,099	146,330	155,429

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	診療収入48,392千円(+6,653千円) 平成29年度は平成28年度と比べ、患者数が503人増加したことにより診療収入が増加
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬ほか 75,993千円(+8,752千円) 平成29年度は平成28年度と比べ、職員構成が変化したことによる増加(休日急病診療所移転整備事業等に係る職員が1名増加)
物件費	医療材料費 8,419千円、不動産鑑定手数料1,273千円ほか 11,093千円(+3,943千円) 平成29年度は平成28年度と比べ、患者数の増加により医療材料費が増加(+2,406千円)、また、平成29年度に不動産鑑定を実施(+1,273千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	37,413	41,784	48,458	6,674
行政サービス活動支出	72,617	76,525	90,535	14,011
行政サービス活動収支差額	△35,204	△34,741	△42,077	△7,337
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	156,989	156,989
投資活動収支差額	-	-	△156,989	△156,989
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△35,204	△34,741	△199,066	△164,326
一般財源充当額	35,204	34,741	199,066	164,326
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出)「おおさか・すいたハウス」の建物購入費(156,989千円)
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
受診者1人当たりのコスト	平成27年度	4,320人	15,198円	各年度の受診者数で算出し、平成29年度は受診者1人当たり18,932円のコストがかかっています。前年度と比較し受診者数が増加したものの、休日急病診療所移転整備に係る人件費が増加したことにより1人当たりのコストが増加しました。
	平成28年度	4,842人	17,733円	
	平成29年度	5,345人	18,932円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,236	1,880	644
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,236	1,880	644
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	3,304	158,255	154,951	固定負債	13,978	20,345	6,367
有形固定資産	3,304	158,255	154,951	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	13,978	20,345	6,367
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	240	240	-	負債の部合計	15,214	22,225	7,011
インフラ資産	-	-	-	純資産	960	147,290	146,330
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	12,629	11,020	△1,609	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	16,173	169,515	153,342
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	16,173	169,515	153,342				

Ⅲ 財務構造分析

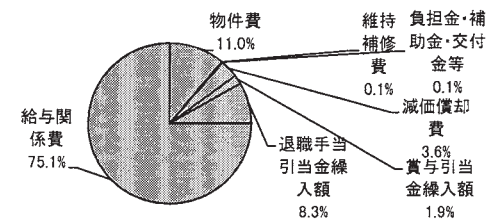
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	3人	月平均	16人	年間従事延日数	
給与関係費等	33,851千円		52,410千円			86,261千円
内、時間外勤務手当	1,545千円					

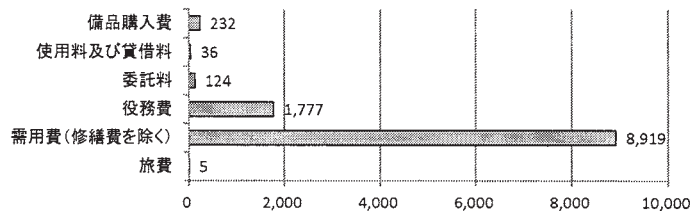
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	「おおさか・すいたハウス」の購入による156,989千円の増、同ハウス及び電気・照明・給排水設備等の減価償却により2,038千円の減
重要物品	診療所の歯科診察台やレントゲン撮影装置等の大型備品の減価償却により1,609千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立休日急病診療所ほか
取得年月日	平成27年(2015年)2月4日
建物・工作物の取得価額	160,856千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,601千円
利用料金収入	48,392千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成28年度			差 B-A
		平成27年度	A	B	
施設維持補修費比率		1.7	2.8	0.0	△ 2.8
施設老朽化比率		7.6	14.6	1.6	△ 13.0
受益者負担比率		56.9	48.6	47.8	△ 0.8
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		48.5	45.4	80.4	35.0
経常費用対公共資産比率		1697.9	2220.5	62.9	△ 2157.6

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・経常収入48,458千円のうち、48,392千円は、受診者からの診療収入によるもので、経常収入の99.9%を占めています。受益者負担比率も47.8%と高く、受診者の負担が収入の大きなウエイトを占める事業です。
- ・経常費用101,194千円のうち、75,993千円は、主に医師、薬剤師、看護師などの出務報酬等を含む給与関係費にかかるもので、経常費用全体の75.1%を給与関係費が占めています。
- ・経常収支の差額は一般財源を充当しており、一般財源充当比率は80.4%となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当していますが、診療収入は、インフルエンザの流行等の季節的要因に左右されるなど、大幅な収入増が見込めないことから、今後も収支の改善は困難であると考えます。
 しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要があります。今後も、事業のより効率的な運営を目指して、事務の改善に積極的に取り組んでまいります。
 休日急病診療所移転整備事業につきましては、平成29年度は、恒久的な移転先として活用するため、「おおさか・すいたハウス(青山台4丁目)」の建物を購入しましたが、今後は必要な改修等を行い、平成31年度末の開設に向けて準備を進めています。